

PRESENTATION 1

・メンタリスト

私は犯罪ものの映画やショーに魅力を感じています。特に捜査陣が犯罪現場から証拠を集めて行く場面は好きです。時として、些細なことが事件の決定的な決め手となったりするのです。

・客

はい、私も「SHERLOCK」や「NCIS」などの犯罪捜査シリーズの中で、そうした場面は見ました。

・メンタリスト

そうですね！

ところで、私は自分が身に着けたスキルとそうしたことを組み合わせられないかと思い、証拠収集の本などを勉強してきました。その結果はとても興味深いものになりました。見たいですか？

・客

もちろんです！

・メンタリスト

では、今仮に警察が犯罪現場でバラバラに破られた紙片を発見し、それらに秘密の情報が隠されていると考えているとしましょう。

・客

面白そうですね。

メンタリストは1枚のカードを取り出します。

・メンタリスト

今このカードが問題の紙片だとしましょう。ここに何か面白い言葉や4桁の数字を書いてもらい、書いたら元のように折りたたんで欲しいのです。そして、テーブルに置いてください。

（客がそうします）

このカードには、警察にとって役に立つ情報が書かれているのですが、先ほど言ったように、警察はバラバラの破片の状態で見つけたのです。ですから、このカードも破ります。

（カードを取り上げます）

カードを破きますが、私は横を向いてカードの方は見ないようにします。

メンタリストは顔を横に向けて、カードをバラバラに破ります。

・メンタリスト

カードがバラバラに破かれたのが分かりますか？

・客

はい。

・メンタリスト

手を出していただけますか？これらの破片を皆、持っておいてください。

客が両手を前に出すので、メンタリストは破った破片をその手の中に落とし入れます。

・メンタリスト

では、その中から2, 3枚を選んで残し、残りはゴミ箱に捨ててください。

客が3枚の破片を残して、残りを捨てます。

・客

選びました。

・メンタリスト

さて、テーブルにあるこれらの紙片は、我々の証拠物件となるものです。最初の破片を調べて見ましょう。

（1枚の破片を取り上げます）

これには何かカーブした線が見られます。私が学んだ犯罪捜査学からすると、あなたが書いたのは単語ですね？
どうです、合っていますか？

・客

はい。

客は若干戸惑ったような顔をします。

・メンタリスト

完璧です。では、次の破片を調べて見ましょう。

（次の破片を取り上げます）

この破片からは、その単語が5文字からなる単語であると分かります。合っていますか？

客は驚きます。

・客

えー！その通りです！

・メンタリスト

では、最後の破片です。

うーん、なるほど。この破片からは、その文字の中に「S」とあると分かりますが、どうでしょうか？

・客

合っています！

・メンタリスト

その単語を思って、それが表すものを心の中で映像化して描いてください。

少し間を取ります。

・客

はい、思いました。

・メンタリスト

あなたが思い描いているのは・・・「House：家」ですね？

客は驚きます。

・客

そうです！驚いたわ！